



ねこ小町

～小さな命を守る会～

ねこ小町は台東区東上野地域で
地域ねこ活動をする
ボランティアグループです。
住民の皆さまのご理解をお願いいたします。

地域ねこ活動とは・・・

地域にいる野良猫はもともとは人間から捨てられて自然に繁殖をし増えたねこたちです。お家もご飯もないのでゴミ箱をあさり、発情時には鳴き、二匹の猫からは一年間に七十八匹もの猫が産まれてしまいます。保健所には「猫を駆除してくれ」という苦情もまい込みます。猫にも家族愛や感情もあります。同じ命を「駆除」と簡単に解決しようとしていいものなのでしょうか？地域ねこ活動はねこ嫌いの人にも理解していただける共存方法です。欧米から始まり、日本全国の各地で行われはじめ、狛江市などでは商店街の活性化までにも発展した「商店街猫」も誕生しました。環境省により「動物との共生」プランとして積極的に各都道府県に勧められています。一匹ずつ自費で不妊手術を施し、餌を定期的にあげることによって頭数をコントロールし、ゴミ箱などをあらすこともなくなります。置きえさをしないことで、カラスなどの弊害もありません。また、ねこを管理することで、治安の向上という付加価値もあげられています。皆様のご協力とご理解をお願いいたします。

- ◆動物愛護法により動物を苛めること、動物を捨てることは罰せられます。目撃した方は警察への通報をお願いいたします。
- ◆猫の飼い主さんは、是非 飼い猫の不妊手術をお考えください。発情時の尿の悪臭や特有の鳴き声を防ぐことができ、医学的な面でもさまざまに病気を防ぐ利点があり長生きをすることが出来ます。猫は車に対処することが出来ません。可哀想な事故や病気から愛猫を守るためにも室内飼いをお考えください。

ねこ小町の由来～ひとりの女性が公園でねこに餌をあげていました。置きえさをせずに、ねこたちが食べ終わるのをジッと待っていました。声をかけてみると98匹もの猫の不妊手術をたった一人でなさったそうです。本を読んだわけでもなく、彼女は自然と東京都が推称する「地域猫活動」をたった一人ではじめていました。特に猫が好きというわけでもなかった彼女、「目の前の命」を救いたいという想いからはじめたそうです。どうりでこの町の猫がゆったりと暮らしていたわけです。彼女の熱意からこの輪がだんだんと広がりつつあります。わたしも何かしてみたいという「小町さん」募集中です。

詳細は nekokomachi.com nekoueno@yahoo.co.jp

その他のお問い合わせは 台東区保健所衛生課までお願いいたします